

## 建設技術フェア 2013 in 中部

### 日本の未来を支える建設業界の最新技術



国土交通省中部技術事務所が開催した

『建設技術フェア 2013 in 中部』を見学に行ってきました。

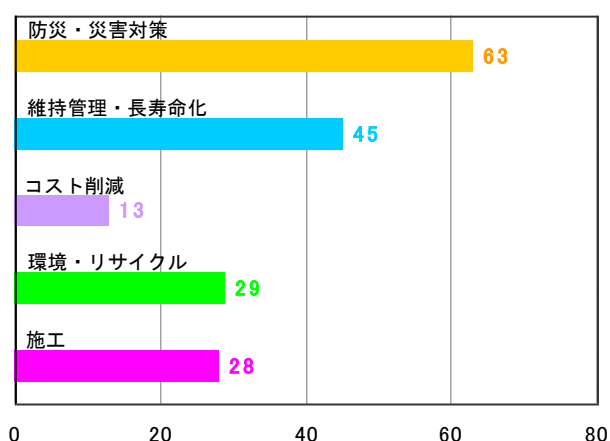
10月24, 25日の二日間、名古屋市の吹上ホールで開催され、私が行った25日は台風27号の影響であいにくの天気でしたが、全国からの多くの見学者（発注者、設計者、ゼネコン、専門工事業者、資材メーカーなど）で大変賑わっていました。毎年見学に行っていますがコンクリートの新製品は、模型や実物が展示してありま

すし、それ以外に新工法や新たに開発された機械などが多く展示してあり、理解が深まりたいへん勉強になります。

出展技術概要集の冒頭では「我が国は人口減少、高齢社会、財政制約、国際競争の激化といった社会構造変化や気候変動・地球環境問題等への対応のなかで持続可能で活力ある国土・地域づくりをどう進めていくかが課題となっています。特に、昨今の地球温暖化の影響と思われる気温の異常な高温化や、局地的に発生するゲリラ豪雨などにより、河川の増水、道路の冠水、土砂崩れなどが頻発し、更に、発生が懸念される南海トラフ巨大地震への対応などの課題に対する取り組みは「国民の安全・安心を守る」という社会資本整備の最も重要な使命の一つといえます。また、高度経済成長期に集中整備された多くの社会資本施設が、今後急速に老朽化することへ国民の関心が高まってきており、これら施設の効率的な維持管理や長寿命化に資する技術開発も喫緊の課題であります。」とフェア実行委員長で中部地方整備局企画部長の平出さんをご挨拶されています。「豊かで安全な暮らしと環境の調和を目指して」をメインテーマに「最新の防災、減災技術で自然災害からあなたを守ります」と「インフラ施設の点検、維持管理技術が安全な暮らしを支えます」の二つをサブテーマとして、それに関連した最新の178技術が展示されていました。このフェアは最新の建設技術や工法について産官学の技術情報交流の場を提供するとともに、一般市民に社会資本整備の必要性を知ってもらうのが開催の目的です。小泉改革以降は『土木』が悪者のようにいわれて民主党に至っては「コンクリートから人へ」などと、私たち建設関連業者をばかにしていましたが、多くの市民の生活を土木が陰で生活を支えていることを理解してもらうのに、このフェアは大変意義があると思います。

来年もこの時期に開催されると思いますので、皆さんも行かれてはいかがでしょうか。もちろん入場は無料です。

分類別出展技術数(178出展技術について集計)



(出典：建設技術フェア2013 in 中部 出展技術概要集)



# 会計検査Q & A

今月も、『公共工事と会計検査』の改訂8版より「会計検査Q&A」をご紹介します。  
一息ついて読んでいただければ幸いです(^-^)/

著者の市川 啓次郎 (いちかわ けいじろう)氏 は 昭和 19 年生まれ。  
元会計検査院 国土交通統括検査室長を務め、現在は財団法人経済調査会の技術顧問としてご活躍中です。

## 今月の質問 : 工場検査基本のき

### 【 質 問 】

公共工事を担当している。近々、受検するので、事前に検査対象契約の設計、積算、施工についてチェックをしようと思うが、どのような点に気をつければ良いだろうか。



### 【 回 答 】

設計に関する指摘で多いのが、鉄筋量の不足に関するものです。例えば、設計計算書（構造計算書）では、径 22 mm の鉄筋を 125 mm 間隔で配筋することになっているのに、配筋図を作成する際に誤って、径 16 mm にしてしまったり、250 mm 間隔にしてしまったりという間違いです。このような間違いは、設計計算書を逐一チェックしなくても、計算結果の総括表に記載されている鉄筋径や間隔が配筋図に正しく書かれているかどうかを確認するだけで、見つけることができます。もし、間違いを見つけ、それが強度的に問題があるようなら、会計検査までに補強工事をおこなしましょう。

積算については、落札率の高い契約を優先的にチェックしましょう。なぜかという、積算過大があった場合に、落札率が 100% に近ければ、過大額がほぼそのまま指摘金額になるからです。落札率が低く、例えば落札率が 80% であれば、20% の積算過大があっても、結果として過大支出にはならないわけです。もし積算過大があった場合には、他の箇所もよく精査して、積算過小と落札差額を考慮し、それでも過大額が残るようなら、会計検査までに減額処置をするなど、過大な支出にならないような処理をおこなしましょう。

施工についてですが、検査対象契約に係る現場には下見に行きましょう。そして、例えば、コンクリートにクラ

ックなどがあった場合には、会計検査前にきちんと補修工事をおこなしましょう。その場合も、クラックの上からモルタルを塗ってクラックが見えないようにしただけではだめです。クラックの原因を調査して、再度クラックが発生しないような補修工事を行う必要があります。

設計、積算、施工などを事前にチェックして、不適切な事態を発見しても、きちんと処理をしないでいて、会計検査時に調査官に指摘されてから、「自分達も気づいていて、処理をするつもりだった」といっても、それは通用しません。






レオ
 ちゃんの製品紹介コーナー
 

◆ ◆ ◆ ◆ スーパーテールアルメ・テールアルメ コーナースキン ◆ ◆ ◆ ◆

こんにちは！ ライオン通信のレオちゃんです♪ 

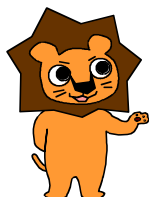
今月は、コーナースキンのご紹介です。多彩な特徴を併せ持つスーパーテールアルメ・テールアルメですが、今回はコーナー用スキンにスポットを当ててご紹介していきます。



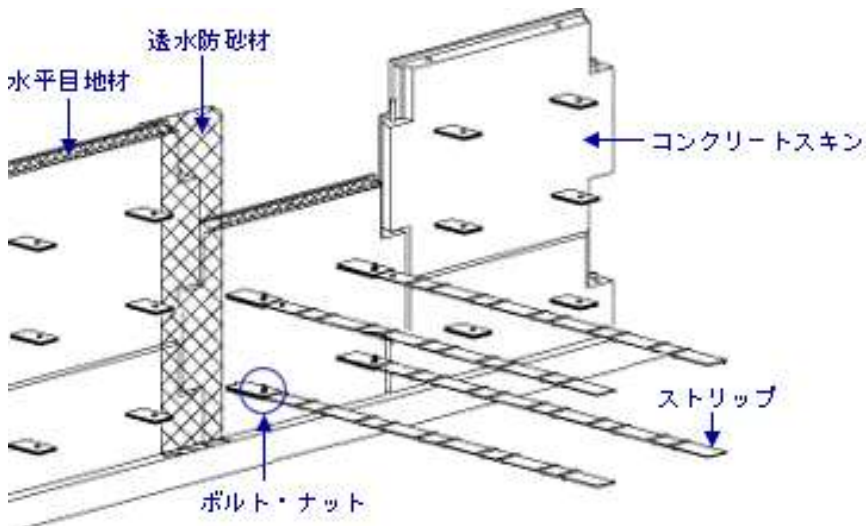
香川県  
天端スキンを法面形状に合わせて全て斜切りパネルにて対応


**JFE商事 テールワン 株式会社**  
<http://www.terrearmee.com/>

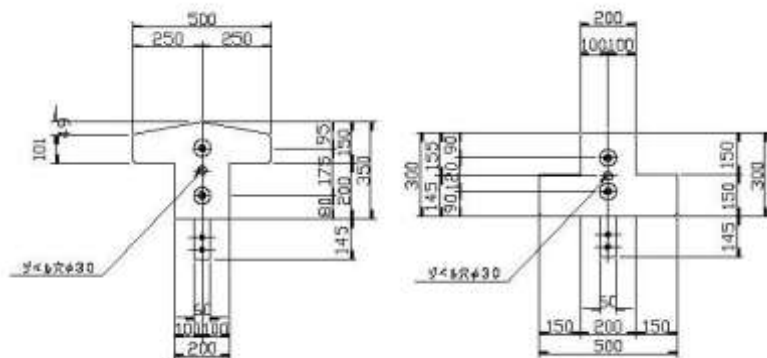
標準パネルと組み合わせて施工する「コーナースキン」  
角度の必要な箇所に使用するコーナー部専用のパネルです。



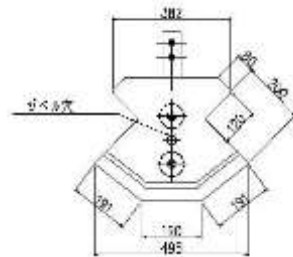
標準施工図



Kタイプ製品図



対応角度  $135^\circ < \theta < 225^\circ$



対応角度  $\theta < 135^\circ$ 、 $\theta > 225^\circ$



設置状況



いろいろな角度に対応可能だから、きれいに施工できますね

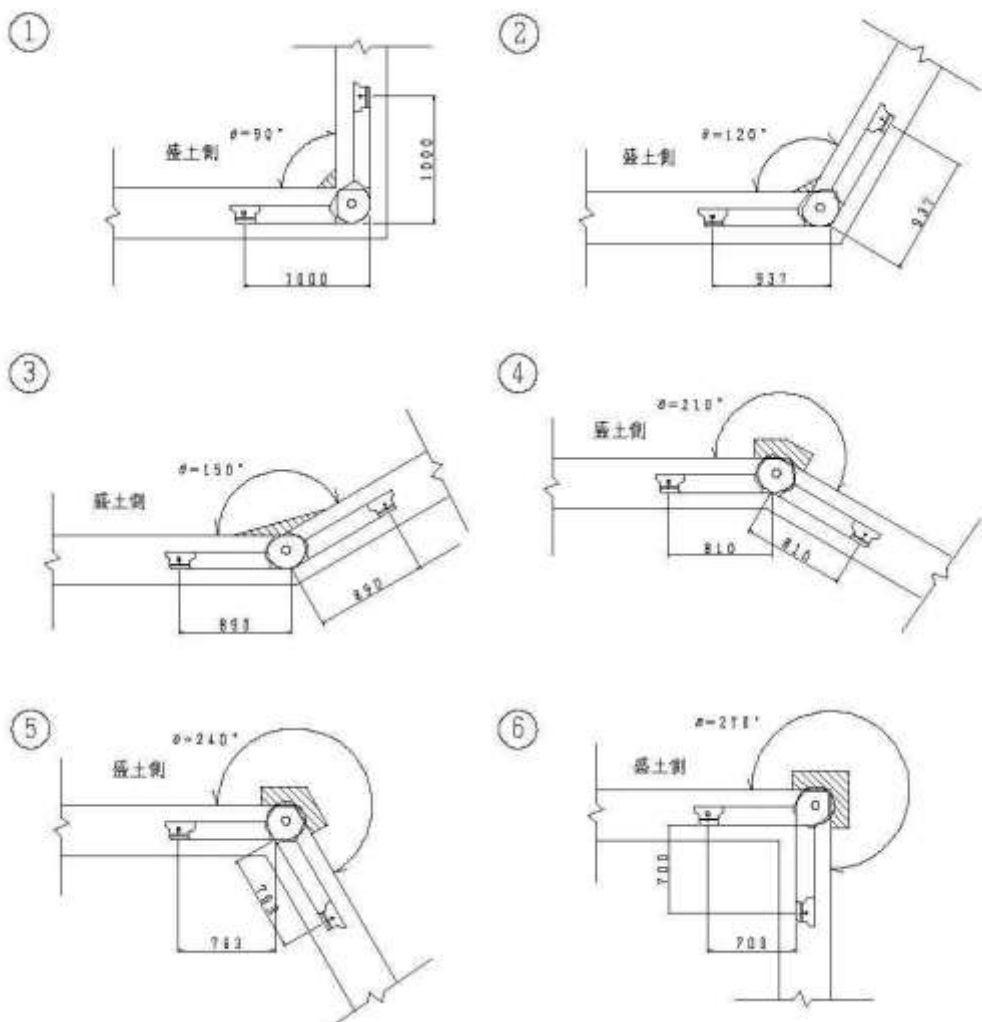






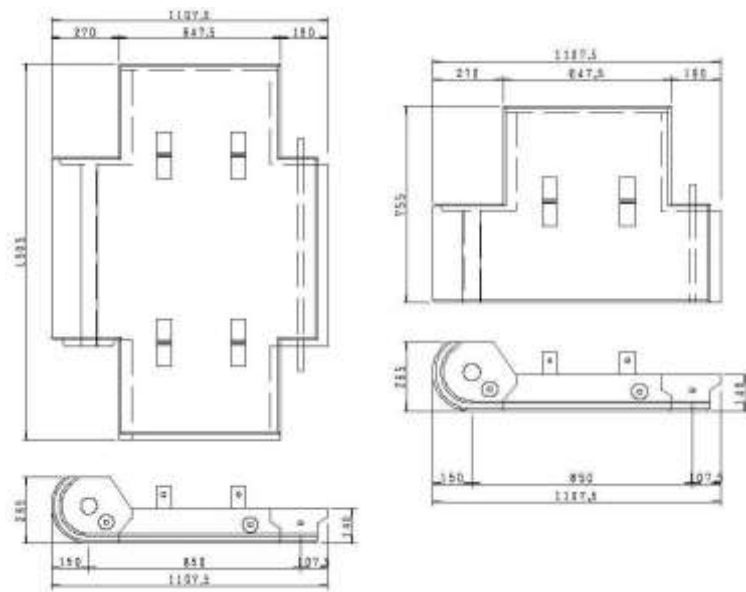
次はマルチタイプです！ Kタイプよりもさらに対応角度が広がりました！

マルチタイプ対応角度例（平面図）



対応角度  $\theta = 90^\circ \sim 270^\circ$

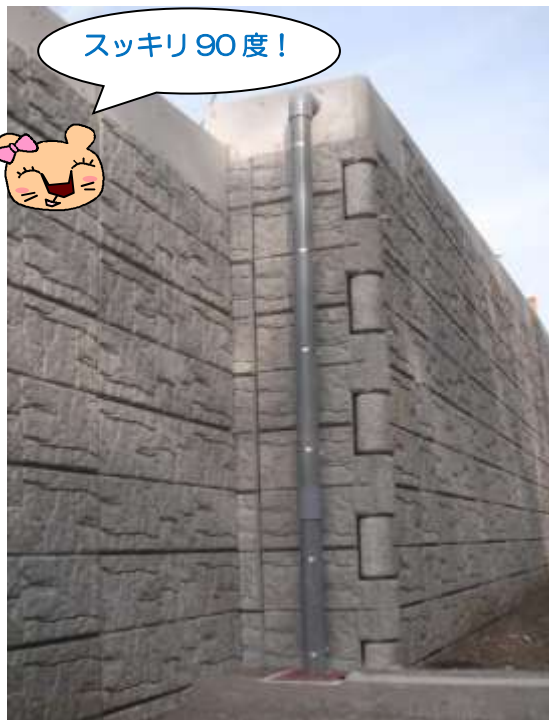
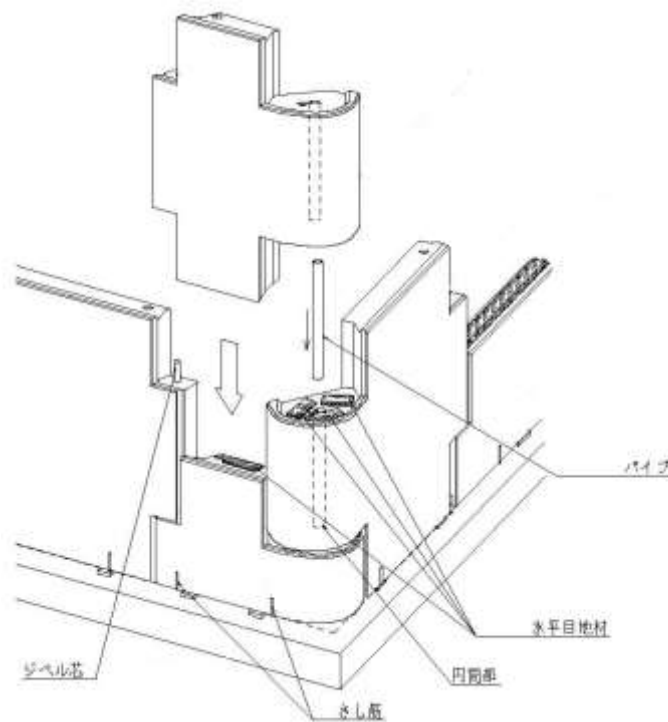
マルチタイプ製品図



フルタイプ

ハーフタイプ

マルチタイプ設置図



◆ 製品に関するお問い合わせ☆資料請求は  
 直通電話: **0858-73-0500** までお気軽にどうぞ!  
 FAX : **0858-73-0535** E-mail : [info@kooge.jp](mailto:info@kooge.jp)

◆ ◆ ◆ 編集後記 ◆ ◆ ◆

11月になり朝夕はすっかり寒くなり、山では紅葉が始まっています。今月は名古屋で開かれた建設技術フェアを業界しました。いかがだったでしょうか。以前はコスト削減や環境・リサイクルがキーワードでしたが、東北大震災以降は防災・災害対策が中心になっています。工法や資材だけでなくシステム・ソフトも最新技術の粋を集めたものが多く展示してありました。来年も楽しみです。(山根)



<URL> <http://www.kooge.jp/>

<e-mail> [info@kooge.jp](mailto:info@kooge.jp)